

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和1年10月8日

計画の名称	101 新富士駅における交通結節点の機能向上と快適な駅前広場の創出（防災・安全）										
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）				交付団体	富士市					
計画の目標	新富士駅は、富士市南部に位置するJR東海道新幹線と公共交通機関の結節駅であり、岳南広域都市圏（富士市・富士宮市）の玄関口として、交通手段相互の乗換え等に欠かすことのできない中心的役割を担ってきた。また、特定旅客施設となる新富士駅（1日あたり乗降客数約9,600人）は、駅舎内のバリアフリー化はもろんのこと、駅周辺地区交通バリアフリー基本構想に基づき、駅舎と周辺施設を結ぶ特定経路をバリアフリー化している。しかしながら、駅前広場については、バス乗降場等がバリアフリー化されておらず、障害者・高齢者を始めとする利用者の乗降等に支障をきたしているほか、近年の社会情勢の変化等に起因して駅前広場の利用状況にも変化が生じたことで、広場内で渋滞が発生し、円滑な通行に支障をきたしている。当該区域の整備により、歩行者の移動円滑化や自動車交通の円滑化を図ることで、交通結節機能の強化及び安全・快適な空間形成を図る。										
計画の成果目標（定量的指標）	指標1: 新富士駅周辺地区交通バリアフリー基本構想内重点整備地区内におけるバリアフリー化に対応するバス乗降場の数を増やす。 指標2: 新富士駅北口駅前広場の一般車駐車場における駐車待ち渋滞発生回数を減少させる。										
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考				
				当初現況値	中間目標値	最終目標値					
指標1	・新富士駅周辺地区交通バリアフリー基本構想内重点整備地区内におけるバリアフリー化に対応するバス乗降場数			1箇所	--	6箇所					
指標2	・新富士駅北口駅前広場の一般車駐車場における駐車待ち渋滞発生回数			7回	--	0回					
全体事業費 (上段:計画 下段:実績)	合計 (A+B+C)	197 百万円	A	197 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市街地整備課	令和元年9月
	公表の方法
	富士市ウェブサイトに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況（○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込（備考欄に完成予定時期等を記入） -：その他（中止、未実施等））

交付対象事業																			
A 地方道路整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
												H29	H30						
A01-001	街路	一般	富士市	直接	富士市	S街路	改築	0.55	(都) 田子浦伝法線(駅前広場)	駅前広場 A=8,000㎡	富士市						197	○	H30
合計												197							
B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
											H29	H30	H31	R1	R2				
																	0		
合計												0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考	
											H29	H30	H31	R1	R2				
																	0		
合計												0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考				

その他関連する事業										
計画等の名称										
番号	事業種別		交付団体	要素事業名		市町村名		全体事業費(百万円)	進捗状況	備考

A'	0	B'	0	C'	0	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$	0.0%
----	---	----	---	----	---	---------------------------------------	------

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 一般駐車場の増設及びレイアウト変更を実施したことで、駐車待ち渋滞回数が0回となり、利便性・安全性が向上した。 バリアフリー化等を実施することで駅前広場の利便性・安全性が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標1 (バリアフリー化に対応するバス乗降乗数)	最終目標値	6 箇所	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	6 箇所		
	指標2 (一般駐車場の駐車待ち渋滞回数)	最終目標値	0 回	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	0 回		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 一般車と公共交通を分離することで利便性・安全性が向上した。 バス乗降場をロータリー化することでバスとの乗り継ぎのしやすさが向上した。 富士市のシンボルである富士山の眺望が良くなった。 			

3. 特記事項 (今後の方針等)

・一般駐車場の設置目的は送迎用のものであり、原則30分以内の利用をお願いしているが、実際には目的外使用がされている状況が確認出来ているため、今後はさらに駐車場の設置目的を多くの方に呼びかけていくことでより利便性・安全性の向上を図りたい。

社会資本総合整備計画(防災・安全交付金) 参考図面

計画の名称	101 新富士駅における交通結節点の機能向上と快適な駅前広場の創出 (防災・安全)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)	交付対象	富士市

